

「紙鉄砲」

細い2本の竹筒と割りばしを組み合わせてつくる、紙鉄砲。濡れ新聞紙を小さく丸めて玉をつくり飛ばします。

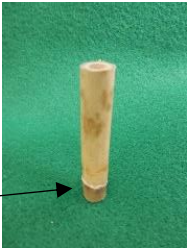
【用意する材料】

細い竹（内径7～8mmの太さ、長さは節から約22～3cm）、丸い割りばし、接着材（木工用ボンド）、厚紙（少し硬めのもの）

【用意する道具】

新聞紙、のこぎり、カッターナイフ

《動画で用いる「加工済の材料」をご家庭で加工する場合のご案内》

加工済の材料	ご家庭で加工する場合のご案内
<p>細い竹筒 (2本)</p>	<p>①都市部ではなかなか手に入らないかもしれませんが、内径7～8mmほどの「<u>細い竹</u>」を使います。</p> <p>②のこぎり等を用いて竹の空洞部分を上下2か所で切り、長さ15cmほどの「<u>竹筒</u>」にします。</p> <div data-bbox="499 1010 1034 1055" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>撮影の加減で違って見えますが、同じ太さです</p> </div>  <p>③「節の1cmほど下」と「節の5～6cmほど上」の2か所を切って、「<u>取っ手</u>」となる部分を作ります。</p> <p>（「取っ手」は丸い割りばしを入れて接着し、弾を飛ばす時に強く押しますので、底に節が必要です。）</p> <div data-bbox="1023 1272 1098 1317" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>節</p> </div> 
<p>丸い割りばし (四角でも可)</p>	<p>①筒の中に入る太さの「<u>丸い割りばし</u>」を1本使います。（筒の中に入れば、四角い割りばしでも大丈夫です。）</p> <p>②割りばしの細い方を「<u>取っ手</u>」に入れて接着し、太い方を「<u>竹筒</u>」に入れて弾を押しますので、端が斜めになっている割りばしは、カッター等で削ってまっすぐ</p> <div data-bbox="879 1559 1417 1603" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>端が斜めになっている場合はまっすぐにします</p> </div> 
<p>接着材（ボンド）</p>	<p>「<u>木工用ボンド</u>」を使用します。100円ショップ等でも安価で購入できます。「竹筒」に入れるだけなので、少量で大丈夫です。</p>
<p>厚紙的</p>	<p>画用紙などの厚紙を二つ折りにします。動画で用いる厚紙は10cm×16cmほどの画用紙ですが、どのような大きさでも、どのような厚紙でも大丈夫です。</p> 

※用意ができましたら、「動画」をご覧くださいながら「ものづくり」をお楽しみください。